



## 歯の変色について

No.45

### 歯の変色

歯の変色には、単に歯の表面のエナメル質に色素などが沈着したものと、象牙質の色が変化して、エナメル質を通して変色が見られるものがあります。原因としては、歯の表面に色素などが沈着・浸透したものや、むし歯の細菌によって起こったり、抗菌剤の服用などによって生じるものもあります。これらの原因は、**外因性と内因性**にわけられます。

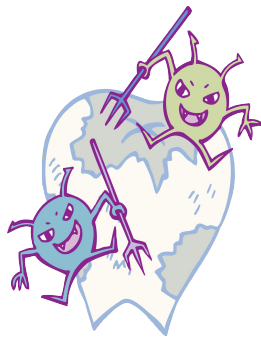
### 外因性

#### ・エナメル質表面の着色

エナメル質の表面に着色物が付着しやすい場所は、歯の溝や歯と歯茎の境目、歯と歯の間などの不潔になりやすい場所です。付着物としては、**コーヒー、紅茶及びコーラのような飲料物**や、喫煙による**タバコのヤニ**が多く、これらは茶褐色から黒褐色を呈します。

#### ・むし歯

**むし歯**は初期の段階では、エナメル質が脱灰して白斑を生じますが、象牙質に進むに連れて、黄白色から茶褐色へと次第に変色します。これは、むし歯の細菌によって象牙細管の構造が破壊され、色素が浸透したり、菌の産生する腐敗物によって、象牙細管内が汚染されて、黒褐色に変化します。



#### ・アマルガム・銀合金

修復材料に、**アマルガム**や**銀合金**を使用した場合、金属中のイオンが溶出して、象牙質を黒変させることがあります。

### 内因性

#### ・打撲による歯の変色のメカニズム

歯の打撲により、数日あるいは数ヶ月たってから歯の色が黒ずむことがあります。外傷により歯が変色するのは、外力によって歯が大きく動き、不安定な脱臼状態となり、神経の内出血と、根の中で血管と神経がちぎれるのが原因です。外傷直後は神経の中が透過し、ピンク色に見えることもあります。外傷から数日間の変色は神経内の出血が原因です。他に、血液が循環しなくなって神経が壊死し、時間がたってから変色する場合もあります。いずれの場合も、**早めの受診をお勧め致します**。



#### ・フッ素

フッ素は、むし歯の予防目的として使用されています。また、飲料水に含まれていることもありますが、**過剰に摂取**すると、石灰化不全が生じて白濁するようになります。

#### ・加齢的变化

歯は加齢とともに、退行性変化を生じ、象牙質の色調及び透明度が変化し、黄褐色を帯びるようになります。

#### ・薬物の服用

歯が形成される過程において、**テトラサイクリン系**の抗菌薬を服用すると、歯が黄色から褐色を経て、暗紫色へと変色します。その度合いは、服用量に比例し年月を経るにつれて、暗みを帯びると言われています。



社団法人

## 柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

